

鉄筋挿入工用アルミ製反力体
アルミディスク

NETIS登録番号：CB-180025-A

斜面侵食防止 表層土砂流出抑制対策工法

EPM

NETIS登録番号：CB-210015-A

株式会社トーエス

〒564-0051 大阪府吹田市豊津町8-10 アドバンス江坂ビル3F

TEL 06-6170-9677 FAX 06-6170-9676

[本社] 〒939-2701 富山県富山市婦中町西本郷436-32

TEL.076-491-1225

FAX.076-495-7675



アルミディスク



EPM

【アルミディスク】

切土法面の安定化を図るため、鉄筋挿入工と併用する工法として開発された、アルミニウムを用いた鉄筋挿入工用反力体である。

特長

1. 軽量構造

アルミ製品で重さ12.5kgの軽量構造のため、人力による設置が可能である。

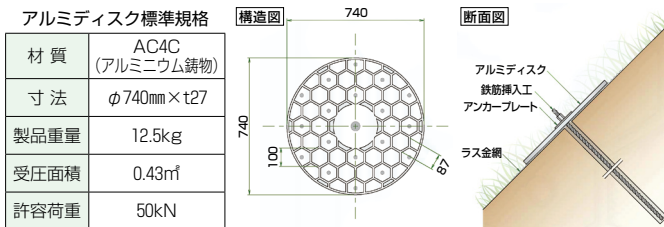
2. 円形構造

円形のため方向調整を行う必要がなく、設置時間が短縮できる。

3. 薄型構造

厚さ27mmの薄型構造。緑化により、アルミディスクを完全に隠すことができ、景観を損なわない。

構造



施工事例

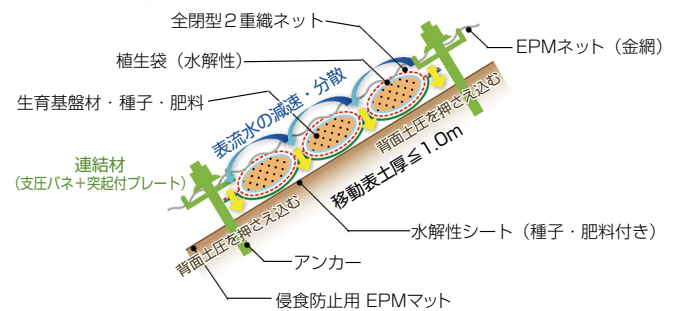


【EPM】

本工法は、層厚1.0m程度までの地山の侵食を防止する工法である。

侵食防止用EPMマットは、連続袋体ネット（種子・育成基盤材・肥料）と水解性種子シートを装着した構造である。また豪雨にも強い全閉型2重織ネットになっており、上部をEPMネット（金網）で覆い、アンカーで固定（グラウト固定）することで、地山の表層の土砂流出防止を図る工法である。

特長



また、EPMマット「BOSO（防草型）」を使用することで、植生を必要としない斜面の侵食を防止することも可能である。

EPMマット「BOSO（防草型）」はポリプロピレンクロスにポリエステル繊維を絡ませた防草シートに線状マットを全面接着した二重構造である。降雨により線状マットが剥がれることで地山に密着し、地山の侵食を防止する構造である。

